

TPP（環太平洋経済連携協定）等を考える県民会議主催

TPP学習会

— まだまだ知らされないTPPの危険な中身 —

TPPに参加すると消費者の暮らしはどう変わるの？

TPPへの日本の参加は決定したの？今からでも参加阻止は可能？

TPPへの疑問に、学習会がズバリ答えます。

地 区	日 時	場 所
花巻地区	3月26日（月） 午後1時～3時	J Aいわて花巻 拠点センター （J Aの本店の隣り）
水沢地区	4月 5日（木） 午前10時～12時	コープAterui 2階ホール
一関地区	4月 5日（木） 午後1時～3時	コープ一関COLZA 2階ホール
宮古地区	4月11日（水） 午後1時～3時	マリンコープドラ 2階ホール
二戸地区	4月 4日（水） 午後1時～3時	二戸市シビックセンター

<内容と学習会講師>

11年11月に、残念ながら政府はTPP交渉参加に向けて、関係国との協議に入ると表明しました。しかし、TPPの問題は、知れば知るほど消費者や生活者にとって、大変な問題であることが分かってきました。食の安全では、残留農薬や、BSE、食品添加物、遺伝子組み替え食品、食品表示などの基準が、アメリカのルールにあわせて緩和させられる心配、医療や公共事業の入札、雇用など、農業分野以外にも地域経済や暮らしに関わる心配なことが多数あります。

TPPの中身がよくわからないとの日本からの問いに、アメリカは「TPPの内容は、韓米FTAを良く見ておけばよい」と答えました。その韓米FTAでは、韓国に極端に不平等な内容だということがやっと韓国の国民に伝えられ、大きな反対運動が起きています。日本の場合は、TPP参加阻止にまだ間に合います。

TPPの中身や問題を学び、多くの方に知らせましょう。

①「TPPの本質と参加阻止運動の展望」

講師：岩手大学横山英信教授

②「韓米FTA」状況調査団からの報告

※ミニ学習会終了後、参加メンバー、団体による今後の取り組みについての懇談、意見交換

《講師》 横山 英信 先生

学歴：東北大学経済学部経済科 1986年
東北大学農学研究科農学専攻
1988年（修士）
東北大学農学研究科農学専攻
1991年（博士）

主要な著書・論文

・グローバル化の北東北地域（2010）
・米過剰問題・米生産調整政策の性格の理論的・歴史具体的検討—戸別所得補償モデル対策に関連して— など